

1. 評価結果概要表

作成日 平成 19年 8月10日

【評価実施概要】

事業所番号	第0171200140		
法人名	有限会社 エム・エムトレーディング		
事業所名	グループホーム すまいる		
所在地 (電話番号)	恵庭市和光町4丁目8番1号 (電話) 0123-39-3001		
評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	札幌市中央区南1条西5丁目7 愛生館ビル 601B		
訪問調査日	平成19年7月27日	評価確定日	平成19年10月15日

【情報提供票より】 (19年 5月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 5月 9日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17		

(2) 建物概要

建物形態	併設 / 単独	新築 / 改築
建物構造	木造 造り	
	2階建ての	1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,000 ~ 58,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有(円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	月額 23,000円 (1日あたり 767円)		

(4) 利用者の概要(月 日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	5 名	要介護2	4 名		
要介護3	4 名	要介護4	3 名		
要介護5	1 名	要支援2	1 名		
年齢	平均 82 歳	最低	65 歳	最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	恵庭南病院・島松病院・三木歯科医院・介護老健施設アトライフ恵庭
---------	---------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

住宅街に位置して、敷地内には手作り菜園や花畑がある。近隣の住民も気軽に訪ねるなど家庭的な雰囲気がある。ホームの運営は1階(うれし館)はやや重度者・2階(たのし館)は軽度者で、隣接には新しく福祉支援センター・居宅介護サービス・デイサービスが開設された。管理者はじめ職員は安全・楽しく・穏やかにの基本理念を基に安心と尊厳のある生活を営むことが出来る様チームケアでの見守りの支援体制が整えられており、ターミナルケアにも対応している。また家族の信頼も厚く、終の棲家としてその人らしく安心して暮らせるサービスが提供されている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での改善課題を全職員で話し合い、改善計画書を作成しケアサービス質の向上に向けて、日々実践に取り組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員で自己評価を行い、内容を検討し職員の意識向上、ケアの見直しに活かした取り組みが行われている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は概ね2ヶ月毎の開催予定だが、不定期で行われている(会議録は整理されている)。定期的な開催が今後の課題。協議ではホームの運営内容・地域との役割関連で地域側からの支援については災害時の緊急応援や、協力体制については不十分であるため、今後の運営推進会議で更なる充実のための協議が望まれるなど積極的な会議がなされている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	ホーム内に苦情相談機構の公的窓口を紹介するポスターが貼ってあり、また職員は家族に積極的に連絡を保つ係わりを持ち、常に家族の意見・要望を聞き取り入れ運営に活かしている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に入会しており、老人クラブにも数名が参加をしている。町内会役員・民生委員の連絡や情報交換は折に触れ行なっている。また隣接の通所介護事業所と共同で、地域住民への働きかけが行われている。

評価結果(詳細)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	一人ひとりの生活を大切に、落ち着いた生活が出来るようにと家族、地域社会との関わりを大切にしたい理念を作り、実践に向けて取り組んでいる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念に基づいたホーム運営を行っており、日々業務の中で、特に、カンファレンスの時など、職員全員で理念を確認しながら共有できるように取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、老人クラブにも数名参加するなど地域の受け止めも積極的である。しかし、重度化によって行事参加者が減少傾向にある。		今後もホームとの交流会を企画し、地域の方々と交流が出来るよう取り組みを検討中なので、今後期待される。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員が自己評価・外部評価の意義を理解し、その結果についても改善計画表を作るなど、業務等に反映され、サービスの質の向上に努めている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を開催しホームの運営状況について報告し、地域の要望意見もホームの運営に活かされているが、会議への積極的参加には至っていない。		定期的開催され会議録も残されてるが、地域住民の積極的参加により、地域社会の理解と支援を得るための意見交換をされるよう、今後期待される。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ホーム運営は行政担当者のアドバイスを受けながら、適正かつ向上に取り組み、また地区のグループホームネットワークに加入し情報を得て、サービスの質の向上に努めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の来訪時に日々の暮らしや健康状態を伝え、来訪出来ない家族には電話・広報「すまいる」を送付して近況報告をしている。また金銭の出納については毎月報告して内容を確認して貰っている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホーム内に公的機関の苦情相談取り扱い窓口のポスターを掲示してあり、来訪時に家族の意見・要望等を聞き、運営に反映させている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員が勤務移動する場合は十分に検討し、管理者・職員は馴染みの関係を大切に支援を行っている。異動・離職もあるが正職員化の努力などで対応している。		雇用問題による介護の人材不足を受け止め、採用条件等を見直し、全員が正社員となる様に努力しているため、今後おおいに期待される。
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は職員が研修に参加する機会を設け、研修によっては出勤扱い・費用負担など育成に取り組み研修報告も共有化を図っているが、なお、体制と計画性などの強化に努めている。		職員全員が正社員との特長を活かした環境を整え、人員育成と質的確保に積極的に取り組んでいるため、今後の成果に期待したい。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域ケア会議やグループホーム連絡協議会に参加をして、情報交換等を行っているが、職員間の交流はされていない。		同業者同士の交流を深めた勉強会や、相互訪問などの機会が増えることが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	職員が事前に得ている情報を基に、1日も早く馴染めるように記録を整えて対応に努めている。また利用者・家族が安心し、納得でき、馴染みのあるサービスへ開始の準備と調整を行っている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員はやさしく丁寧に一人ひとりの個性を大切に、利用者個々の主体性を大切にして喜び・悲しみを共有し、信頼関係を築けるように留意して実践している。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個々の思いや暮らし方の意向を十分に把握し、得意な事・出来る事・出来ない事を見極め、本人の希望に沿った支援が出来るように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人・家族の意見・要望等を十分取り入れ、職員・ケアマネージャーと協議を重ね個々の心身の状況と生活能力を考慮し、意向を確かめた上で、介護計画を作成している。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は期間及び状態の変化に応じて随時見直し、職員間のケアカンファレンスを通じ作成し、本人・家族の意見・希望を取り入れた介護計画を作成している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人・家族の状況や要望に応じ、通院介助や老人クラブへの参加支援など出来る範囲の中で柔軟な支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	個々の記録をファイルにまとめ、本人・家族の希望するかかりつけ医療機関の受診支援を行い、緊急時でも即時対応出来るように協力病院との体制がつくられている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	将来の重度化や終末期に向けて、本人・家族の意思を尊重した話し合いや協力病院とも連携をとり、以前の終末対応の経験を踏まえて取り組み、ホームとしての方針を職員全員で共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	ひとり一人の性格を把握し、プライドを傷つけないような言葉かけや対応に注意をした支援が行われており、また個人情報に関する書類等の管理も適切に行われている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は一人ひとりの過し方を大切に、利用者本位のペースを保てるように支援をし、日々散歩や畑仕事にと楽しめる時間が持てるよう支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は利用者と共に食事の準備や、後片付け等を楽しみながら支援をしている。また食事もその時の体調に合わせ、個別の対応が行われている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は毎日行い、利用者の希望に沿った入浴時間帯や、入浴を楽しめる入浴支援を行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴や身体状況を踏まえて、大正琴・花・野菜作りなど、一人ひとりの思いに沿った生活支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望に応じた外出支援を行っており、ひとり散歩の時などは職員がさりげなく見守るなど、安全への配慮をした支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関には音センサーを設置し、職員は常に見守り・心配りをして、鍵をかけないケアを大切にした支援を実践している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災による避難訓練は定期的に行っているが、町内会や地域住民との災害時の協力体制を築くまでには至っていない。		運営推進会議でも検討されているが、町内会や地域住民の参加・協力を得ながらの避難訓練や、災害時に備えた非常食などの準備が望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日の摂取カロリーを記録に残し、職員は一人ひとりの状況を把握し、個別の対応をした支援が行われている。なお、定期的ではないが利用者の状況に応じて医療機関の栄養管理士などによる指導をえている。		栄養バランス等については、なお、利用者個々の心身の状況に応じて随時医師・栄養士に相談できる連携体制作りが望まれる。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には季節の花や利用者全員のスナップ写真が飾られ、食卓テーブルには庭に咲いた一輪挿しが飾られており、家庭的雰囲気作りがされている。また建物の採光・臭気・温度・換気などの配慮があり、職員は状況に応じて適切に配慮した処遇をしている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には家族写真や手作りの品が飾られ、馴染みの家財 道具の配置や好みに合わせた心地よく過ごせるよう配慮された 環境整備がされている。		